関宮学園

令和４年度
－５月号－
発行 4/27

入学式・進級式

ぴかぴかの１年生が前期課程に、７年生が後期課程に、それぞれ入学、進級しました。あれから一月、学校にもずいぶん慣れたようです。

清掃集会

清掃の大切さについて確認しました。「全力清掃」頑張りましょう。

初めての給食（１年生）

楽しい給食になるといいです。

但馬オープン戦の結果

野球部　ベスト８　　男子バスケットボール部　第３位

女子バスケットボール部　準優勝

「全力あいさつ」「全力合唱」「全力清掃」

４月８日に最終回を迎えた朝ドラ「カムカムエブリバディ」に、切られ役を長年演じてきた大部屋俳優の伴虚無蔵（松重豊）が脇役として登場します。虚無蔵は、俳優として成功できないことに焦りを募らせる若手俳優五十嵐（本郷奏多）に、「拙者は４０年、斬られ続けておる。日々鍛錬し、いつ来るともわからぬ機会に備えよ。」と諭すシーンがあります。

結果的に、五十嵐はハリウッドでアクション監督として成功しますが、現実はそのチャンスさえも来ないかもしれません。来る保障のないチャンスのために、日々鍛錬を続けるのは並大抵のことではありません。鍛錬を続けたとしてもチャンスをつかめる保障はないけれど、鍛錬を続けないとチャンスはつかめない。重みのある言葉だと思いました。

関宮学園の伝統となっている「全力あいさつ」「全力合唱」「全力清掃」はこの「日々鍛錬」に通じるものだと思います。関宮学園の後期校舎は、耐震補強工事の時にリニューアルされたとはいえ、古い建物です。しかし、この校舎は、古いけれど大切に使ってこられた建物であると感じました。久しぶりに関宮学園に帰ってこられた中村先生が、「教室のこの窓、前に勤めたときのままだ。」と言っておられました。全力清掃でしっかりと磨く。自分で磨いた校舎は大切に使う。これが、関宮学園の伝統なのだと思いました。そんな素敵な子どもたちを育む関宮の地域。この伝統を大切にしていきたいと思いました。

最後に虚無蔵の名言をもう一つ。「そなたが鍛錬し培い、身につけたものはそなたのもの。一生の宝となるもの。されどその宝は、分かち与えるほどに、輝きが増すものと心得よ。」いつか、機会があれば、子どもたちに伝えたい言葉です。

関宮学園 HP　http://yabuboard.ed.jp/sekinomiyagakuen/